

【第17号】  
平成27年 1月26日

# 福島県相双建設事務所 復旧復興だより



(この便りは、相双建設事務所と富岡土木事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

## ◆国道288号玉ノ湯バイパスが開通しました。

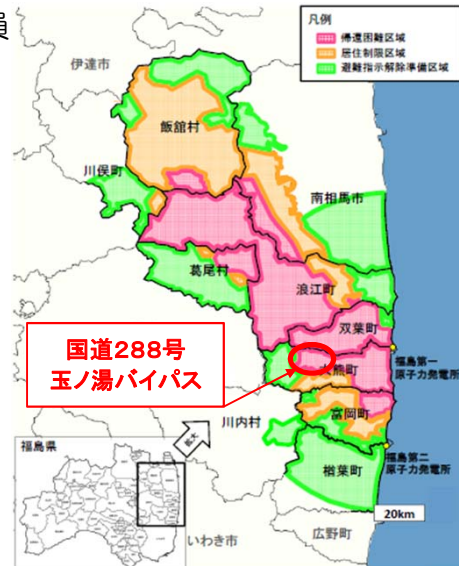
相双建設事務所では、国道288号双葉郡大熊町大字野上地内の幅員が狭く車のすれ違いが困難な箇所について、通行車両の利便性や安全性の向上を図るため、平成16年度から改良事業を進めていました。

その後、震災に伴う福島第一原発事故の影響等により約2年間、事業を休止しておりましたが、平成25年度に「ふくしま復興再生道路」として事業を再開し、平成26年12月25日に全長425mのバイパスを開通することができました。

本事業は、比較的放射線量が高い場所で、2つの橋と長さ189mのトンネルを整備する必要があり、施工は困難を伴うものでしたが、工事施工者のご尽力もあり、無事に完了することができました。

今回の開通は、帰還困難区域内の道路バイパス事業として初めての事例であり、今後、除染やインフラ整備等の復興従事車両の通行や住民の皆さまの一時立入などを円滑にするとともに、将来の帰還に向けた様々な活動を支援するものです。

当事務所ではこのほか、地域の復興につながる道路整備を管内全域で進めているところであり、各事業の一日も早い完成に向け引き続き取り組んでまいります。



(※国道288号玉ノ湯バイパスは帰還困難区域内にあるため、現在、通行には市町村等が発行する通行証が必要です)



バイパス開通後の状況



玉ノ湯バイパスの事業内容

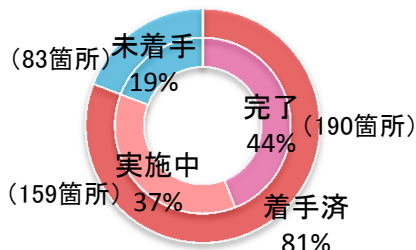
### 工事監督員の声

(遠藤副主査)

資材や作業員の不足のほか、当初は土砂搬出ができないなど苦労も多かったですが、開通後バイパスを円滑に通行する車両を目にし、本事業が地域復興の一助になるものと感じることができました。

## ◆その他の情報

### ◇震災等の災害復旧工事の進捗(H26.12月末)



※対象は相双建設、富岡土木が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

### ◇県道原町川俣線

### 八木沢トンネルの掘削状況

H27.1.26現在、全長2,345mのうち南相馬市側から760m地点を掘削中。

○次回は、「ふくしま復興再生道路(八木沢工区)の整備状況」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)